

# きらきらひかる

## 富士見丘小学校学校支援本部だより

～きらきら輝く子供の目。その子供たちの学校生活をサポートするのが、富士見丘小学校学校支援本部です。～

### すべては子供のために



富士見丘小学校の第18代校長先生として平成27年4月に着任された相馬季子先生に、お話をうかがいました。

#### Q 富士見丘小学校の最初の印象をお聞かせください。

校名のとおり、校舎のどこの教室からも富士山が見えるです。さすがは「ふじみがおか」だと思いました。子供たちもそれは自慢のようで、「今日は富士山がきれいです。」と教えてくれます。農地が点在し、緑が豊かな地域ですが、一方で、東西に長く広がる校区は幹線道路に囲まれており、子供たちの通学が心配でした。また着任早々から、放射5号線（学校の北側・中央高速の下を通る都道）の開通に伴う工事計画と、旧NHKグラウンドの公園化計画が動き出したこともあり、子供たちの安全をどう守るかに責任を感じました。



●「全校遠足」の出発前に全校児童の前で紹介される支援本部のサポーター

#### Q 相馬先生の理想の学校とは？

子供が毎日楽しく来ることが出来て、明日も行きたいと思える学校です。それを実現するために、教員は切磋琢磨、研鑽を積んで指導力を上げてほしいし、家庭には心豊かな子供になるために力を注いでほしいし、地域には学校と同じ方向を向いて一緒に関わってほしい。すべては子供のため、子供が幸せな学校でありたいですね。

#### Q 本校の学校支援本部に望むことは？

富士見丘小学校は地域運営学校（CS）の指定を受けています。学校経営に関するご意見を学校運営協議会委員の皆さんからいただけることを心強く感じており安心感があります。そして、学校支援本部は、その経営計画を実現するために力を貸してください。教員だけではできないことが可能になり、安全面でも教育内容としても、より質の高いものを提供できるのは支援本部のおかげです。実は、今年度実施した「全校遠足」は、最初は実現できないと思っていました。でも、支援本部からたくさんの方の参加があり可能になりました。社会科見学など校外活動に同行してくださったり、スタディルームにご協力くださったり…。本校が学力の定着度が高いのは、学び残しを出さないための手厚い指導があるからだと思います。支援本部には、これまでの活動を継続し、教育課程にどんどん入ってきていただきたいです。



●井の頭公園に到着

#### Q 富士見丘小学校は、地域の中でどんな存在でありたいですか？

地域活動の中心になれるといいなと思っています。小さい子供からお年寄りまでが足を運んでくださるような。そのために、まずは来年度、「防災」をテーマに新しい活動をスタートさせる予定です。学校支援本部のご協力を期待しています。

（聞き手：学校支援本部 平田敬子）

### 杉並区の学校支援本部のすべてがわかる大百科

学校支援本部の取組や歴史、運営に関するアンケート結果などをまとめた『学校支援本部ってなんだろう BOOK』（企画・発行／杉並区教育委員会事務局学校支援課）が完成し、12月19日に開催された「すぎなみ教育シンポジウム」で配布されました。区立小中学校の多彩な支援本部活動が掲載されています。富士見丘小学校からは2つの活動事例をご紹介しました。



# 学校支援本部「きら☆サポ」活動紹介

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子どもたち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を込めた富士見丘小学校学校支援本部の愛称です。

## 花マル先生のメンバーが増えました

8年目の活動となった「花マル先生」。平成27年度は2名が新たに加わり、赤ペンを手に子どもたちに向き合っています。毎週金曜日の1年生スタディルームに加え、月1回、2年生のスタディルームのお手伝いも始まりました。



## 土曜授業をコーディネート



●書写授業:本校の元校長・宮絢子先生と書の会の方々

## きら☆サポ基金

学校支援本部の活動は学校規模に応じた杉並区教育委員会からの分担金でまかなわれていますが、活動が充実するにしたがい、予算不足が課題となっていました。富士見丘小学校学校支援本部では平成23年に教育基金を設立し、年度の途中に提案された事業にも柔軟に対応できる仕組みとしました。基金には地域の方をはじめ、PTA予算からもご寄付をいただいています。この場をお借りして感謝申し上げるとともに、これからも皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。一事務局

きら☆サポ基金 口座

【振込先金融機関】ゆうちょ銀行

【店名】 〇〇八（ゼロゼロハチ）

【預金種目】 普通預金

【口座番号】 3082890

【口座名】 富士見丘小学校学校支援本部

(フジミガオカショウガッコウガッコウシエンホンブ)

## 学校と地域をつなぎます



●高井戸囃子保存会の皆さん

地域人材の協力を得た体験的な学びを学校に提案することも、学校支援本部の役割です。そのひとつが、3年生で行う高井戸囃子の授業。地元に伝わるお囃子について学び、演奏をご指導いただいている。1回目の授業では保存会の方々の実演を鑑賞しました。

学校支援本部は、「総合的な学習の時間」等で授業の内容やねらいについて学校と話し合い、学校のニーズに合わせたゲストを探しますが、これまで平日の授業にお招きすることが叶わない場合がありました。土曜授業が始まったことで、より多様な体験の機会をつくることができます。12月の土曜授業では、3年生の書写（毛筆）授業で7名の方にご指導いただき、4年生は高齢者理解の授業で浴風会の方からお話をうかがうことができました。

●高齢者理解の授業:相談員さんとケアワーカーさん



「きらきらひかる」  
富士見丘小学校学校支援本部だより  
Vol. 7

発行:平成28年2月1日

編集:富士見丘小学校 学校支援本部

〒168-0074 杉並区上高井戸2-16-13

TEL/FAX:03-5941-8967

E-mail:fujimishoushien@bz03.plala.or.jp